いずみ
発行所
福井県大野郡
和泉村公民館
印刷所　松浦印刷所

變更された計画案発表

奥越電源開発問題

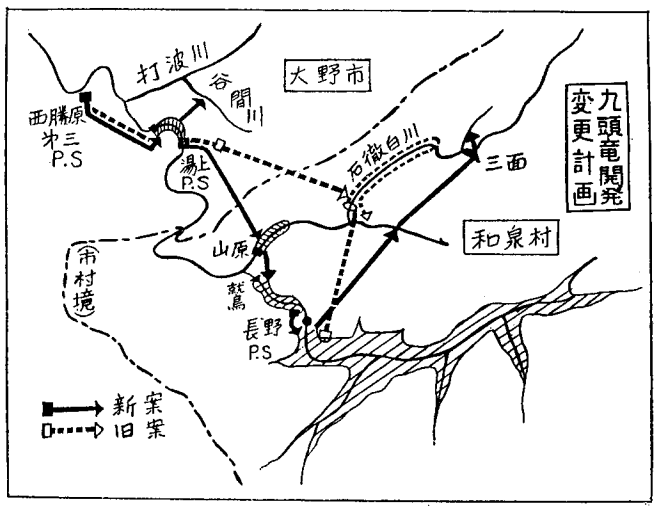
四長老の勧告による共同開発案が当時通産省大堀公益事業局長の「地元のみなさんに心から喜んでいたゞけると思う」との談話と共に発表されて以来、此の案に基く補償基準の提示等もあつて、之を巡つて種々検討論議がなされ、その結果は拒否となつて表われる等長い年月に亘りあらゆる面に於いて村及び村民の物心両面に蒙つた被害は、実に莫大なものであります。

このことについてはその都度報道致して参りましたし、それにもまして村民が直接身に受けた被害であり又体験して来た問題でありますから、繰り返しその経過を述べることを省略致しますが、今年に至り地元選出の福田代議士が直接本問題担当大臣の要職につかれ之と時を前後して北知事が

1、補償は公正妥当なものとすること。

2、和泉村の補償は電源開発株式会社に限ること。

3、奥地残存対策については県の責任に於いて国及び企業会社の協力を得て遂行すること、といういわゆる漠然としたものではあるが三原則なるものを発表すると共に、県会工作は勿論、県内各階層各機関の了解取付並びに中央折衝等が席の温まる暇もなく行われ、一方中央に於ては之に見合う新案の構想が錬られ、遂に十月十七日自民党北陸地方開発委員会に於て次の新計画が承認されたのであります。



計画の概要

㋑長野ダムは五米かさ上げし石徹白川の水は三面から引水する。

㋺長野ダムの下流に鷲ダムを設け両貯水池を利用して二二万KWの揚水式発電を行う。

㋩鷲の水は山原に於て石徹白川の残流を合わせ(山原ダム)湯上に落し五万KWの発電を行う。

㋥更に西勝原第三の地点で五万KWの発電を行う。

㋭この計画は協定原案同様国鉄の競合をさけ得ること。

以上でありまして特に知事は之が決定と同時に三原則に

1県は国及び企業者と協力して残存する和泉村の育成に最善の努力をする。

2県は電源開発の決定と併行して越美北線工事の着工を強力に推進する。

の二項を附帯条件として新段階に応じ、今秋開催の電源開発調整審議会に計画の決定を期するため、県の総力を結集して推進することを明らかにされたのでありますが之はあくまでも骨子であつて詳細な面に入つては十一月早々本村に於て開催の移動県庁の場で村民の希望や意見をよく聞き、綿密なる計画を樹て必ず実行するとの言明をいたゞいたのであります。

しかし県や国に対し又企業者との本格的な交渉が今日より行われるのであるから、とり返しのつかない重大問題であるだけに後世に悔をのこさないために益々団結を強固にして難局を突破し、光輝く第二の生活を造る出発をあやまらず、個人及び公共補償並びに対策に万全を期することが肝要であります。

公民館強調目標

一、読書の秋です。人格を高め知識を得るため大いに読書をしましょう。

一、良い本を読んで正しい人、健全なる心の持主になりましよう。

仙翁坑開発と鉱床性

係長　奥島勇松　②

かくて希望の光を見、着々と工事がはかどつた訳で＋八〇米より南二号下向きボーリングの実施、更に良鉱体の連続性を零米まで確認、引続き零米に於て東南向掘進を急速度に実施しましたところ、三六年五月には南仙翁鉱体随一の良鉱体を獲得したのであります。その後三六年下期ようやく採掘計画立案の運びとなり、昭和三九年度より二五〇頓計画への準備に取りかかりました。目下零米準より切上り、鉱石坑井、ずり坑井、クラッシャ室、一四〇米エンドレス坑道、採掘準備切上り等実施中であります。尚新坑内事務所、食堂倉庫、乾燥室、火薬取扱所も殆ど完成し中山坑に劣らざる態勢を整えつつあります。

今後の見通しについて先ず仙翁坑の開発ですが、只今仙翁墜道の赤谷下部に、「モリブデン」鉱体を掘進中ですが、既に二五〇米前進しました。

将来更に零米南仙翁下部へ連絡し、運搬坑道とするため、零米南二号下部ボーリングを行い下八〇米まで実施の予定であり、三八年度には下八〇米下部探鉱実施し、鉱床確認の上は輸送ケージ立坑の実現、仙翁墜道の大型レールのひき替えの見込みであります。南四号鉱体の「モリブデン」を主体とし、本年十二月より元山選鉱場に処理施設も完了の予定であります。

モリブデンへの希望は実に大きい。現在の亜鉛鉱確認鉱量は数百万頓をこえると思われるが、今後下部探坑並びに周辺の探鉱を実施し、昭和四〇年以降には更に増産体勢に入るのであります。赤谷坑の鉄鉱体は三〇〇米に及ぶ大鉱床であり、モリブデンの外に磁鉄鉱も含有しています。裏山には西谷村の黒当戸鉱床、本戸の昆沙谷鉱床、秋生の中天井鉱床等、仙翁坑より連る今後の鉱床開発はなかなか公算大であり、中竜の発展は間違いないものと信じます。

皆さまも余暇をお作りになつて御見学において下さるようお待ちしております。山の真価もご覧になればお分りになると思います。皆様の御健康をお祈り致しまして筆をおきます。　（おわり）

◇

水稲被害状況

和泉村農業共済

本年は作柄が良い割に穂首いもちの多発を見、相当の減収量があつた。

被害面積　二五ヘクタール

減収K数　二〇、〇〇〇キロ

本年度は植付初期低温のため発育がおくれたため、あわてて追肥を施した人が多く、それが中期後期の高温のために一時に効き出したために、病害が予想以上に発生した。今後は追肥については充分研究して施すことが大切である。

参議院議員 田中清一氏 墓参のため来村

郷土出身参議院議員田中清一氏は十月五日墓参のため来村、上半原神明神社に参拝翌六日、日進小学校に於いて、日進校PTA及び村合同歓迎会に出席の後、かねて氏が政治生命をかける縦貫自動車道の現状について報告及び講演を午後、氏の墓地であり幼少の頃住んでおられた多母谷に一同同行、墓参後現場に於いて野外中食会をひらき昔話しや時局問題について歓談し、同日帰京された。

（写真は墓碑の前で祭文を読む田中清一氏）

耕地担当職員技術講習会開かる

県高志事務所管内町村の耕地担当職員研究会の共催で町村耕地職員技術講習会が十月十一日、十二日、十三日の三日間当村池ケ島玉乃井荘で開催されました。

講習会の主な目的は最近各町村で土地改良事務や耕地災害復旧工事などが益々増加しており、これにともなつて耕地担当職員の技術をさらに高めようと言うのがねらいで、受講者は当和泉村耕地担当職員など合せて三十余名で十日午前十時から開講式が行われました。

講習会の主な内容は、現地調査の実際、工事施行と監督、縦横断測量、製図の作り方など。講師は県事務所の田中耕地課長ほか小幡島崎、竹内、西脇の各技師等が来られた。

各種団体だより

一〇月二日　斎藤指導主事、後野分校指導訪問

一〇月二日　日進小学校体育大会

一〇月四日　久沢部落運動会

一〇月四日　大納校指導研究会

一〇月四日　大納校に於いて村内小学三年算数研究会

一〇月六日　日進分館運動会

一〇月六日　参議院議員田中清一氏墓参帰郷、時局講演(日進校)

一〇月九日　大納校交通教室

大野署より係官二名来校

一〇月一〇日　大和小学校遠足、徒歩にて伊勢峠より西谷ダム見学

一〇月一三日　東部中学校面谷へ遠足

一〇月一四日　大野、勝山地区農協組合長協議会、電源開発研究会（玉の井荘）

一〇月一五日　日進校研究会

斎藤指導主事

一〇月一六日　上地区農協婦人部長会　文化事業と生活資材について

一〇月一七、一八日　和泉村農業共済建物事業推進

一〇月三日～一八日　村内校長会研究旅行　南九州

一〇月一八日　青年団役員会

△芸能大会　十一月十一日大和校

△視察旅行　十一月十八日岐阜

一〇月一九日　和泉村小学一年算数研究会(日進校)

一〇月二〇日　上、下地区政府売渡米検査　上、三〇〇俵　下、八〇〇俵

一〇月二〇日　村内教職員ソフトボール大会(朝日中)

一〇月二一日　村内中学校対抗陸上競技大会

一〇月二二日　上地区農協共済加入者武生菊人形参観

一〇月二二日　朝日小学校校内運動会

一〇月二三日　戦歿者慰霊祭　大和小学校

一〇月二四日　全朝日小学校

一〇月二三日　村民体育祭準備委員会、上地区大谷　下地区朝日

プロパンガスの使用について

プロパンガスを使用する家庭が大へん多くなりました。使用時は規則を守って正しい取扱いを致しましよう。

一、ボンベは必ず直立にして、通風のよい日光の直射を受けない屋外において、温度は三五度以下に保つようにして下さい。

二、ボンベは転倒、転落及び衝撃を受けない様特に気をつけましよう。

三、ボンベは床下又は地下におくことは絶対さけて下さい。尚箱などに入れて置く場合は通風を良くして下さい。

四、ボンベの附近には燃え易いものを置かない様気をつけましよう。

五、出入口、窓附近に置く場合は漏れたガスが屋内に流入しない様にして下さい。

六、配管およびゴムホースは家具壁などにかくれる部分に継手を使用してはなりません。ゴムホースは三米以上長くしてはなりません。配管又はゴムホースは煙突より三〇糎、電線より一五糎離しておいて下さい。

七、ガスコンロは常に異物を除去して清潔にして置いて下さい。

八、ガス洩れの点検の際はマッチローソク等の使用は絶対に禁じ石鹸水で調べて下さい。若しガスもれが発見された場合は必ず元栓を締めて、販売所へ至急連絡下さい。

九、風の吹き込みで炎が消されない様、又使用中ゴムホースが押しつぶされたりしない様にして下さい。

十、使用後はボンベ元栓(バルブ)とコックは必ず締めて下さい。

村民の声

生活改善に思う

電源開発だ、鉄道だと、秋達の身のまわりは何かとせわしく、また家庭には老人と子供ばかり残り夫も妻も復旧工事にと、朝の早くから晩遅くまであわたゞしい毎日に追い廻されている。はたして私達はこれでいゝのだろうかと考える時、ハタと行きづまり、何か淋しいかなしい気がしてならないこんなに目先のことばかりに争つて金、金とがめつくならなくとももつと考え研究した生活はして行けないものだろうか？

世はまさに宇宙時代、外国では週に二休だと言われているのに、私達農村だけがそんな事は関係ないとそつぽを向いていて良いものでしようか。農村に嫁の来てがないと言うのも、仕事よりもその古い因習（例えば隣の人に悪いから夜遅くまで、また雨が降つても仕事を）があるからではないでしようか。今少し生活にアイディアを取り入れて野良に御出勤と言うぐあいに、時間のゆとりと週一回と迄は行かなく共、月二回位の農休日を設けて好きな趣味に打ち込める様にしたら、それこそ農村程楽天地はないでしよう。なんとかして私達の手で、農村に嫁の来てが多くて困る様な家庭を、そして社会を築きたいものです。

それにはまず

一、生活の安定

二、古い因習からの脱皮

三、人のおせつかいをいわない

こうしたことが先決問題となりましよう。二、三の問題は心がけ一つで実行出来る事だが、一の問題はなかなか困難なので、職業の違い、財産の差によつて異なつてくるが、それ〴〵の職業にただ真倹なだけでなく、もつと研究し前進して行く、つまり生活の改善が必要ではないでしようか。

現在米づくりは昔のやく培増となつている。これも国の政策と研究がなかつたら、昔のまゝで反収四、五俵にとゞまつているのに相違ない。私達ももう少し大きな目を開いて、田畑の交換分合と耕地整理を行う必要があると思いますいや必要に迫られている。また小さくは一反足らずの畑に何と十数種の作物を栽培し交換し合つたら手間もはぶけ、中には特産物も出ると思う。

またダムもいよ〴〵本決まりに来たとの事、村の理事者の方はじめ村民一丸となつて、穴馬立ち始まつて以来のこの一大事業に悔いのない不公平のないよう対処して戴き度い。行く者も残る者も共に今迄以上の生活が出来るように、残る者の一員として何とも言いしれぬ淋しさと不安にかられているが、残る者の生活源は何と言つても山だけなので、この際思い切つた処置が必要ではないでしようか何ごともなんとかなるさ。なんとかしよう。となまぬるい事を言つている場合でなく、各自が何とかする。と立ち上がり、話し合い協力し合つたら、そこに始めて住みよい社会が明るい生活が築かれて行く事でしよう　（A主婦）

三中学対抗陸上競技大会

快晴に恵まれた二十一日、朝日中学校グランドに於いて本年度村内三中学校の対抗陸上競技大会が行われました。

此の日参加校の東部中学校、朝日中学校、大納中学校などの選手および応援団総勢約四百余人の出場を見て、さわやかな秋空の下、若々しい力に溢れた声援が盛んに飛び、スポーツの秋にふさわしい一日、各種目に熱戦がくりひろげられました。

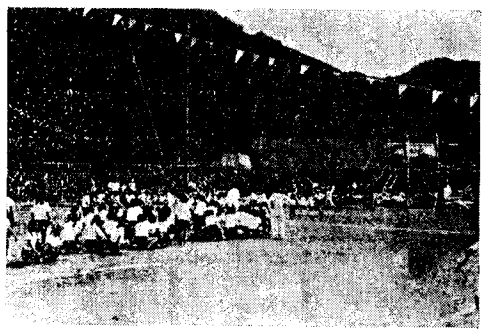
競技は走幅跳び、砲丸投げ、リレーなどと続き、当日のアトラクションとして福井音頭を参加者全員で踊り、健康なる次代の若人の力強い歩みを見せました。尚競技成績は次の通りでした。

〔中学一年の部〕
優勝東部中学校、二位朝日中学校、三位大納中学校

〔中学二年の部〕
優勝朝日中学校、二位東部中学校、三位大納中学校

〔中学三年の部〕優勝大納中学校
二位朝日中学校、三位東部中学校

（写真は大会の一こま）



秋空高く運動会
―朝日小学校―

十月二十二日、澄み渡る秋空のもと朝日小学校、全幼稚園合同の恒例運動会が展開され、紅白による得点争奪戦が熱を帯び、観覧父兄も自然に二分され応援の火花を散らし午ら午後三時、興奮の中に無事閉会を迎えた
（写真はその一景）

みこしもくり出す氏神祭礼

澄み切つた秋の空に心地良くひびく太鼓の音、おみこし、はやしの声、秋祭りのシーズンを迎えたきのう、きよう、各部落では氏神様を中心とする祭礼が盛んに行われています。特に今年は例年の如き台風の被害も全くなく、順調であつた天候にめぐまれ、村は豊作に感謝と喜びを示す秋祭りは、各部落とも一層農山村の年中行事の意義を益々深めた感であります。

南国情緒の所感を過日の「九州旅行」から拾つて見たい。

汽車の窓から見ていると何だか台湾のような錯覚にとらわれる。どこの民家の周囲にもバナナの葉つぱが大きく風にゆらぎ、ヤシ、フェニックスビンロウなどの大樹が原色もなまなましく秋空に手を拡げている。屋根の瓦を白いシックイで止めて季節風に備えてあるものまでアクセサリに見え、何だか中国や台湾の廟の屋根を偲ばせ日本ばなれしている。

鹿児島より宮崎が北になるが黒潮の影響か温かい。青島の自然林に入ると今にも槍を持つた土人が飛び出すように思われたり、全山シャボテンで蔽われたシャボテン山の奇観は世界でも珍らしいとのこと。南方方面に居たことのある方にはちよつとオーバに聞えるかも知れぬが、南国情緒がただよつていることはたしかである。ただ違うのは、山の端に紅葉のさざしが見えたことである。

筆者は台湾に七年程居たことがあるが、年中原色の緑が失せないで秋らしい感じを一度も味わつたことがなかつた。やシの木などもつと高く伸びのびと空を圧していたように思う。冬でも蚊張の中で、窓辺にゆきかう螢を見たのだから、ここまで来ると南国情緒もB級A級である。しかし余り南へ下がると南国情緒を通りこして熱帯性を表わし刺戟が強すぎる。高雄の駅で汽車から降りた時など空気が燃えているかと思われるカゲロウが目にちらつき、くらくらと目まいがした程である。こうなつたら情緒ではなく熱地獄である。

一般的に暖かい地方の人は心が大きく明朗であるようだ。一面のんびりしていることにもなるが、古来幾多の偉人を出しているようだ。西郷南州が武運拙なく死期目前に迫りつつあるのに、洞窟の中に五日間も部下の一人と碁を囲んでいたという。島津公の大庭園、鹿児島湾を池とし桜島を築山とした大構想、燈ろうの屋根は巨岩である。実にスケールが大きい。丸に十の字（島津公の家紋）の帆が見えるという時代が伺われて面白い。

桜島はなまなましく岩壁を溶岩で圧し、煙か雲か絶えず噴出している。こんなところに学校が三つもあるのに驚いた。旅行から帰つた翌日、大音響と共に爆発したことをテレビで知つてぞつとした。水一滴もない島、天水を取つている島に、住めば都か多数の人が住んでいる。南国情緒もよいが、やつぱり私たちは寒い越路の古里がよいのか。再び喜こんで越冬の準備をしなければならぬだろう。

（出村）

福祉年金の伝達について

これまで七十才以上の者でも、恩給や年金などを一万二千円以上受けている者や公務扶助料を受けている者は老齢福祉年金は受けられなかつたが、昭和三十七年十月から普通の恩給や年金の場合は二万四千円以下、公務扶助料や遺族援護法による扶助料の場合は七万円以下の者は、七十才に達すると老齢福祉年金が受けられることになりましたから、該当者は役場で「老齢福祉年金裁定請求」の手続をして下さい。この手続には恩給や年金や扶助料等の証書の写を添えねばならんから忘れずに証書を持つて来て下さい。くわしい事は役場の年金係でおきき下さい。

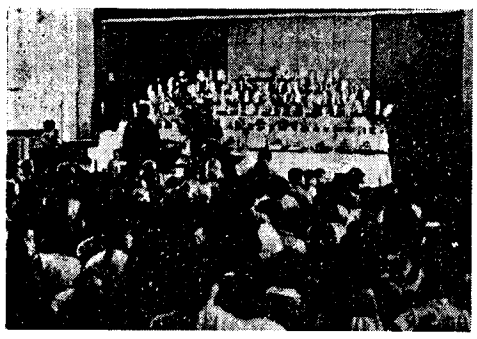
戦歿者慰霊祭

昭和三十七年度戦歿者慰霊祭は去る十月二十三日大和小学校（上地区）二十四日朝日小学校（下地区）に於て今泉輪番導師のもとに盛大に厳修されました。

終戦後十七年遺族の涙も新たなるものがあり、知事並びに大野郡市遺家族代表の弔辞、もり沢山に飾られた祭壇、立のぼる香煙のうちに慰霊祭はすすめられた。

遺族をはじめ多数参詣者はありし日の戦歿者を彷仏たらしめ、その御霊のご冥福を祈ると共に、各々の職場に一層精進し御英霊にこたえ奉らんことを堅く誓いました

（写真はしめやかに行われた慰霊祭）



蔬菜栽培に成功するにはどんなことを知らなければならないか

五、蔬菜の種類

蔬菜と云えば菜類に限つたことはない。どんな種類があるかと云うことを一応知つていることである。

①瓜類＝胡瓜、越瓜、南瓜、メロン、西瓜
②茄類及び雑果菜類＝茄、トマト唐辛子、オクラ、苺、ピーマン
③莢菜類＝豌豆、蚕豆、十八ささげ、枝豆、なたまめ、採豆
④塊根類＝馬鈴薯、早堀甘藷、里芋、自然薯、百合、くわい、蓮根、しようが
⑤葱類＝玉葱、らつきよう、にんにく、葱、分葱、リーキ、ニラ
⑥直根類＝大根、蕪、スエーデン蕪、球茎甘藍、わさび、人蔘、牛蒡、ヒート
⑦菜類＝結球白菜、漬菜、芥菜、甘藍、子持甘藍、花野菜
⑧生菜及び香辛菜＝セルリー、ハセリー、うど、さんしよう、チシヤ、ワサビ大根、みようが
⑨茎菜類＝せり、みつば、しゆんぎく、ふき、ほうれんそう、ふだんそう、アスハラガス、孟宗竹
⑩菌類＝マツシユルーム、シイタケ

以上のほか軟白蔬菜、芽物等があります。これらを栽培方法、即ち促成、早熟、露地、抑制　軟白等の栽培方式にわかれ、またそのおのおのが栽培時期で品種を変えなければならないものである。

☆　寄稿下さつた島田普及員が転勤になりましたので残念ながらこの項は以後中止します

（写真は上伊勢婦人部の白菜の収穫）

児童生徒の作文

大きくなつたら

小三　野村晃

ぼくは大きくなつたらけいさつになりたい。ぼくはどろぼうをつかまえたり、道をおしえたり、町をまわつたりします。そして道で子どもがあそんでいたら、ちゆういをしてあげます。

また人がわいわいしていて小さい子がたおれたりけんかをしていたらぼくはみんなの中にはいつてちゆういをしてあげます。またどろぼうがいないか人の中をとおつてみます。またどろぼうが人のものをとるとそれをとりかえしてあげます。それからみせのしなものをぬすんだりしますと、それをとりかえしてあげます。

だからぼくはけいさつになりたいのです。

ひろい空

小五　橋本時夫

そらはひろい
そらにはくもが出てきた
くものあいだにあおぞらがあつた
少したつてあおぞらになつた
ひろいあおぞら
うつくしいあおぞら

人のうごき

【出生】
大谷　山口　京子　喜八長女
下半原　石神　豊　春俊弐男
上大納　宮原　正則　昭義長男
上半原　長谷川千枝子孝正弐女

【婚姻】
○大谷　永瀬龍太郎
京都府綴喜郡八幡町大森満智子
○箱ケ瀬　美濃島佐市
京都府綴喜郡物部町岸本千津子
○下半原　木島　徹
名古屋市中村区則武町
表野　昭子
○大分県宇佐郡駅川町名武　功
上半原　長谷川静子

【死亡】
朝日前坂
伊勢　三橋己之助
帯刀　潔

かじか

◆「今年ほど有難かつた年はない」と思わず口から喜びの声がとび出すほど、台風に打ちのめされた村民が多いこの村である。今年は幸い十号を超える暴力台風も鳴りをひそめて、この村には何等の被害も及ぼさず九月、十月を無事通過した。連年悩まされて来たものには今年、その災害をまぬがれた事が何にも奇蹟とさえ思われる位でそれほど手痛く惨酷であつた。今年のこの有難さと、当時の無惨さを思い比べて、今後どこの人々が自然の暴威に見舞われても吾々は、かつての身を以ての悲惨な事実を思い起して出来るだけの義捐にこたえたいものである。道路も堤防も着々復旧の一路を辿り、村内沿道の河岸を見ると、旧態を一新して人工的な曲線が絵のように美しく走つている。願くは工事設計者の合理的な頭脳の働きと、施工者の良心的な工事とを念願してやまない。◆と、まア一安心したところで、関連して引続いて頭に浮ぶのに越美北線の延長がある。表日本は夢の超特急で時速二〇〇キロにいどんで東海道新幹線工事が、それこそ昼夜兼行で進められ、裏日本でも近くに北陸線の複線化工事が日一日と進められ、両者とも遠からず完成するであろう。このように周囲の交通網は日に〳〵至便になつて行くのを見て、郷土の越美北線が未定のまゝもたつくことは、丁度近所隣りが電燈、ラジオ、テレビと着々電化され至便になつて行くのに、我が家だけがローソクの光で細々とその日を送り乍ら、早く電気がほしい〳〵と心細い急ぎをしているのと同じ感である。吾々は挙村一致越美の南北両線の連結が実現するよう、あらゆる機会を捉えて努力を続けたいものである。世は宇宙時代というのに鉄道の敷設に力こぶを入れることは何か時代感覚にズレがあると見る向きもあろうけれど、矢張り脚元を見つめての動きでなければならぬ、文化の発展は交通路の整備からと言われているのに、事実一本の道路だけが他町村への通路である現実を見て、歩一歩と固める気持で、先ず鉄道延長の早期実現を期すべきではなかろうか。◆かく言うと必ず電源開発問題がからまつて来るが、両がらみにしていつまでも聞洩される形にならぬよう切望したい。